

# アンジュレータにおける干渉と輝度

北村英男  
理化学研究所

第三世代放射光源とは、アンジュレータの高輝度性能を最大限に生かすよう最適化された加速器施設のことである。その内容は、アンジュレータを設置できる直線部を備えるとともに電子ビームのエミッタンスを可能な限り低くするよう加速器設計を最適化することである。そして、最近では、回折限界性能を追求した極低エミッタンス性能を有する施設が建設段階にある。しかしながら、忘れられている（無視されている）重要なビームパラメータがある。エネルギー分散である。いかに最新の加速器（蓄積リング）設計といえどもこのパラメータの改良は放置されたままである。本講演では、以上の条件下におかれたアンジュレータの実用性能について言及する。